

情報処理安全確保支援士特定講習 講習情報

株式会社ワイ・イー・シー

File System Forensics

実施機関名	株式会社ワイ・イー・シー		
講習名	File System Forensics		
特定講習番号	21-002-006		
講習形態	集合形式	定員（1回あたり）	15名
受講日数	2日間	受講時間	12時間
受講料	275,000（円/税込み）		

対象分野 <ITSS+（セキュリティ領域）>	主な分野	セキュリティ調査分析・研究開発	関連分野
講習内容	<p>ファイルシステム構造に関する十分な理解は、フォレンジック調査を実施する上で基礎となる要件の一つです。各ファイルシステムのファイル/フォルダの管理方法やデータリカバリの原理等の理解を深めることで、解析精度の向上や第三者への報告等の明瞭化（復元手法の妥当性等）等が期待できます。本講習では、主なファイルシステムの構造に加えて、OSの各機能がファイルシステムに残す痕跡等を解説していきます。</p>		
具体的な到達目標	<p>以下の能力を身につけ、インシデントに関係した適切な一般的なフォレンジック調査手法とフォレンジックツール解析処理結果の妥当性を判断できるようになる。</p> <p>①一般的なOSに使用されるファイルシステム構造（NTFS, FAT, exFAT, EXT2/3/4のファイルシステム構造について） ②File Systemごとの特徴とフォレンジック調査における重要性</p>		
修得できるスキル	<p>①各ファイルシステムのファイル/フォルダの管理方法やデータリカバリの原理等の理解を深めることで、解析精度の向上や第三者への報告等の明瞭化（復元手法の妥当性等） ②主なファイルシステムの構造に加えて、OSの各機能がファイルシステムに残す痕跡等についての理解</p>		
講習の理解・習得のために推奨される実務経験	デジタルフォレンジックの実務経験（OS問わず）があることが望ましい		
講習の理解・習得のために推奨される知識・技術	デジタルフォレンジックに関する基礎の知識・スキルがあることが望ましい		
技術・知識の到達度の把握・測定方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・演習課題の解答内容 ・実機による実習状況 		
修了認定の判断基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率：全体の3/4以上 ・演習課題への解答の正誤、解答を導き出したプロセスの習得状況を総合的に判断して決定する。 		
修了認定基準に満たない受講者への措置	<p>受講生の習得状況が修了認定基準に著しく満たないと講師が判断した場合は、講師又は補助講師が個別に補講や助言（計1時間以内）を実施する。</p> <p>出席率が満たない場合：補講の実施で対応する。</p> <p>補講実施後も修了と認められない場合には、受講者へ通知の上、修了認定を行わない。</p>		
受講者に対するサポート体制	各演習課題の解答や解答プロセスなどの状況から修了認定を与えることが難しいと懸念さえる受講生には、講師または講師補助が個別に不明点などヒアリングの上、補足説明を加えたレクチャーやアドバイスを実施する。		
講習実施施設所在地	<p>〒100-0006東京都千代田区有楽町</p> <p>〒530-0017大阪府大阪市北区角田町</p>		
ホームページ	https://www.kk-yec.co.jp/products/forensic/training.html		